

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 29 日

事務事業名		スポーツ少年団球技大会事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 030401000070	
		総合計画の施策名 O304 生涯スポーツ活動の振興				単独/補助		090501	
政策体系		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業		対象外	
		04 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト		対象外	
		01 スポーツをする機会の充実				未来PJ事業		対象外	
		基本事業名				合併建設計画事業		対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (昭和57年度~)			
01 10 06 01 02 00		保健体育総務事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣市町村のスポーツ少年団に参加を呼び掛け、スポーツの普及(競技の楽しさと技術の向上)とスポーツ少年団の友好と親善を深めるとともに、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として行われている。</li> <li>○ミニバレーボール大会 開催日 5月17日 会場 岩瀬体育館</li> <li>○岩瀬近隣少年野球大会 開催日 5月9日 会場 総合運動公園多目的G他</li> <li>○真壁近隣スポ少球技大会 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・野球) 真壁運動場・真壁体育館</li> <li>○ミニバスケットボール大会 開催日 1月17・18日 会場 岩瀬体育館</li> <li>○岩瀬近隣少年サッカー大会 開催日 2月19・20日 会場 総合運動公園芝生広場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞品、参加賞の準備</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・賞品、参加賞の準備	開催回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
・市民 (市内スポーツ少年団) 及び近隣スポーツ少年団	市内及び近隣スポーツ少年団	単位団	172.00	168.00	168.00	168.00	168.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
・体力の向上と技術練磨を身につける。	参加者数	人	2,616.00	2,960.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	441	381	465	457	457
	事業費計 (A)	千円	441	381	465	457	457	
量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	110.00	21.00	30.00	30.00	30.00	
	人件費計 (B)	千円	319	61	87	87	87	
トータルコスト (A)+(B)		千円	760	442	552	544	544	

		27年度事業費 実績 (千円)		28年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	08 報償費	376		08 報償費	432
	11 需用費	5		11 需用費	33
	合計		381		465

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	スポーツ少年団球技大会事業	事務事業No.	30401000070	所属課	スポーツ振興課
-------	---------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・岩瀬近隣少年野球大会(昭和57年)・岩瀬近隣少年サッカー大会(平成5年)・ミニバレーボール大会(平成6年)・真壁近隣スポ少球技大会(平成8年)・ミニバスケットボール大会(平成9年)はスポーツの普及とスポーツ少年団同士の友好と親善を深めるとともに、心身ともに健全な青少年を育成する目的で開始された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 ・この事業はスポーツ少年団間の友好と親善につながっているため継続してほしいと要望が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・教育活動の一環であり、少年団同士が競技をすることによりスポーツの普及と地域コミュニティーが構築され、また、青少年育成にも結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・教育活動の一環であり、少年団同士が競技をすることによりスポーツの普及と地域コミュニティーが構築され、また、青少年育成にもなるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・参加チームを増やすことにより、より一層高い技術を持つ少年団を招くことができ更なる技術の向上、コミュニケーションの輪を広げ成果を上げられることが考えられるが、大会日程を多くとることは現状では不可能なため向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・スポーツ少年団がスポーツ活動をする場が削減されることは、意図の一つである技術練磨を身につける機会が減り、技術の向上、青少年育成の妨げになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・普段試合をすることがない他のスポーツ少年団と試合ができるのは本事業以外ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・参加者への案内から会場準備まで全て主管団が行っているため削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・教育活動の一環として行われており、主管団体が参加費を徴収して大会運営に充当しているため妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・評価により示したとおり適切に事業が行われているが、主管団体が参加費を増加して事業費に充当すれば、事業費の削減ができると思われるが、現在の金額から増加するのは難しい。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> </table>		成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	⑧																		
成果優先度評価結果	④																						
コスト削減優先度評価結果	⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---